

受講者募集



「マナビイ」 * 1

第34回 大学公開講座（受講者参加型）

日高ライブラリーカレッジ

一緒に学びませんか！

.....
選りすぐった専門家と直近の関心事・身近な話題をテーマについて
「いきいきと楽しく学び」をスタートしませんか！

受講者参加型

会の企画運営は受講者自らが行き、講演後には小グループで
意見交換するなど、受講者間のコミュニケーションを大切にしています。

期間・回数 2025年8月16日（土）～11月15日（土）全7回

講師・テーマ 裏面の学習プログラムをご覧ください

会場 日高市生涯学習センター（図書館）

受講対象者 興味ある方ならどなたでも受講できます

定員 100名（定員になり次第締め切りとなります）

受講料 2,000円（教材費など） 初回受講時に、会場受付でお支払いください

*当日のみの受講もできます

（1回500円、小中学生100円）直接会場でお申し込みください

募集期間 2025年7月1日（火）から定員に達する迄

申し込み方法 所定の申込用紙^{*2}に必要事項を記入し、各公民館、
生涯学習センター（図書館）、生涯学習課へ提出、
または、市のホームページ（電子申請）から申し込みください

問い合わせ 日高市教育委員会 生涯学習課 電話 042(989)2111

市ホームページ



電子申請



主催 日高市

企画・運営 日高ライブラリーカレッジ企画運営委員会

～日高ライブラリーカレッジは、市と市民ボランティアとの協働事業として開催しています～

*1この原画は、文部科学省の依頼により故石ノ森章太郎（漫画家）が無償でデザインした生涯学習のマスコットマークで「学び」とミツバチの「bee」を合わせて「マナビイ」と言います。

*2申込用紙は各公民館、生涯学習センター（図書館）、生涯学習課にあります。

第34回 大学公開講座 日高ライブリーカレッジ

＜ 学 習 プ ロ グ ラ ム ＞

※都合により、テーマや講師などが変更になる場合があります

日 時 ・ 会 場	テ ー マ / 講 師 (敬 称 略)	講 義 内 容
第 1 回	開講式 講義開始前	東日本大震災の原因は、プレートの沈み込みが約1年間にわたって停滞したことにあります。現在、北海道沖でも同様の兆候が観測されています。プレートの動きを精密に監視することは、大地震を予知するうえで極めて重要です。
8月16日(土) 13:30~16:30 生涯学習センター 視聴覚室	「地震の予知」 「津波被害は根絶できる」 東京科学大学名誉教授 丸山 茂徳	
	オリエンテーション 講義終了後	
第 2 回	「飢えるか、植えるか」～農と食と命を守るローカル自給圏の構築 東京大学大学院特任教授・名誉教授 鈴木 宣弘	日本の食料自給率は種や肥料の自給率の低さも考慮すると38%どころか10%あるかないか、海外からの物流が停止したら世界で最も餓死者が出る国との試算もある。 国内生産を拡大したいが、逆に国内農業は生産コスト高でも農産物の価格が上がらず、廃業が激増しているが、国は支援しない。今こそ、母親の力で、協同組合、市民組織、自治体の政治・行政、医療界、心ある企業などを結集し、地域の種を守り、生産から消費までを一体化し、地域循環的に農と食を支えるローカル自給圏の構築をめざし、地域からの「飢えるか、植えるか」運動のうねりを起こそう。
9月 6 日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 3 回	日本経済の課題と未来 一橋大学経済研究所教授 宮本 弘暁	日本はかつてない転換点を迎えています。金利上昇や株価の大きな変化、石破政権の少数与党体制、そして世界ではトランプ政権が復活し、再び保護主義の波が押し寄せています。混迷の時代、日本経済はどこへ向かうのか？本講演では最新の経済情勢を踏まえ、日本の進むべき道を皆様と考えていきます。 ※ 講義終了後、講師との交流会を予定しています。
9月 2 0 日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 4 回	将軍吉宗と尾張宗春 静岡市歴史博物館館長 東京学芸大学名誉教授 大石 学	江戸時代のちょうど真ん中の時期に行われた将軍吉宗の政治改革とこれを批判する御三家筆頭の尾張藩徳川宗春の政治対立について話します。この時期の幕府の財政再建をめぐり吉宗の「大きな政府」・財政規律と宗春の「小さな政府」・減税という政治対立・権力闘争を現代的視点から読み解きます。
10月 4 日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 5 回	今求められている地方行政の在り方 横瀬町役場 まち経営課 連携推進室長 田端 将伸	人口減少が続く小さな町、横瀬町。 日本の総人口が急速に減る中、人口減少に耐え、備えるまちづくりを推進し、町の未来を変えるため「日本一チャレンジする町」として新しい行政のあり方に挑戦しています。特に行政単独での持続可能なまちづくりに限界を感じ、民間企業との連携など、連携によるまちづくりを展開しています。このような中、これからの地方行政と地域住民との連携について考えてみましょう。
10月18日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 6 回	統合失調症患者さんが地域で暮らすための治療とは 医療法人くすのき会 南飯能病院 理事長・院長 角田 健一	これまでの精神科病院では、入院を中心とした治療が行われてきました。しかし今後は、当事者が社会に戻ることを妨げないように、パーソナル・リカバリーの考え方を大切にしながら、安心して地域で暮らせるような医療が求められています。 そのためには、本人への生活のサポートやアウトリーチを充実させ、地域の医療・行政・保健が協力して、地域共生社会を目指すことが大切です。
11月1日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
第 7 回	おせっかいで健康になる？地域のたすけ合いの新しいカタチ 株式会社CNC コミュニティナース ・トレーナー 宮本 裕司	高齢化・人口減少が進む今、地域での支え合いやつながりの再構築が求められています。本講演では、暮らしの中にある「おせっかい」が、人を健康にし、地域を元気にする力になること、そしてそれを実践する「コミュニティナース」の可能性についてお話し、皆さんと考えていきます。
11月15日(土) 13:30~16:00 生涯学習センター 視聴覚室		
	閉講式 講義終了後	